

秋田協同印刷株式会社（秋田県秋田市）

【印刷業】

商工会議所のイチオシ

女性の活躍推進



LEADER

代表取締役 赤川 靖宏 氏

平成28年4月の女性活躍推進法の施行が、女性の活躍推進を加速するきっかけとなった。従業員300人以下の企業の行動計画策定は必須ではないが、代表取締役赤川氏の強い意向により計画を策定・提出した。女性活躍推進企業として各方面で取り上げられる中、男性社員を含め全社員も巻き込むべく、社内の意識改革に力を入れる。

「上司は男性」という固定概念を打ち払う

■背景・きっかけ:

もともと女性社員の多い職場にも関わらず、管理職に占める女性社員の比率は低かった。上司は男性という固定概念を打ち払うべく、トップダウンによる女性活躍推進に向けた取り組みが始まった。きっかけは、女性の「物腰の柔らかさ」や「対応の良さ」が営業職・デザイン業務へ活かせることに気づいたことであった。

2014年秋田県の「女性活躍推進宣言」を行い、「職場風土の改善」「女性の採用拡大」「女性の継続就業支援」の3つを掲げ取り組んだ。さらに2016年4月の女性活躍推進法の施行をきっかけに、女性活躍推進に向け行動計画を策定し、女性の積極登用を加速した。その結果2014年は2人であった女性管理職が現在は7人となっている。

■取組内容・効果:

女性活躍を進める鍵は、当事者以外の社員をどれだけ巻き込んでいけるかである。同社では、社内の意識改革を図るため、朝礼や社内掲示などの機会をとらえ、取り組み内容を社内全体で共有する事に力を入れている。当初、管理職就任に戸惑いを見せた女性社員も社内の理解や協力により現在大いに活躍している。

また、社員の仕事に対する意欲を高めるため、子どもお仕事参観日を実施。社員の働く姿を自身の子どものために知ってもらおう本取り組みは、親子間のコミュニケーションを深めるだけでなく、会社と家庭の垣根を超え、社員同士が気遣いあう風土の醸成につながった。

女性活躍推進の行動計画を策定し取り組みを進めてから、各方面で取り上げられ、就職希望者が増加するなど、目に見える効果も出ている。

■今後の展望と課題

女性活躍を推進するにあたっては、男女均等な評価基準の導入が不可欠である。そのため同社では、社内評価制度が女性にとって不利なものになっていないかの精査を皮切りに、昇進基準の見直しを進めている。また、女性社員のマネジメント意識の醸成を図るため、管理職になるための研修を開始した。今後は、効果検証を進め性別に関係なく社員が活躍できる雇用環境の整備に努めていく。



↑ミーティング風景



↑子ども達も参加した『秋のレクリエーション』



↑3回目となった「幼稚園・保育園への『じゅうちょう』プレゼント」は女性社員からの提案ではじめた

実践のポイント

- ▶ トップダウンにより、社内全体を巻き込んだ女性の活躍推進。
- ▶ 社員同士のコミュニケーションの活性化。

【企業データ】

| | | | | | |
|-------|---|--------|---|------|----------------------|
| 代表者 | 代表取締役 赤川 靖宏 | 会社設立年 | 1912年 | 従業員数 | 82人 (男性56人、女性26人) |
| 本社所在地 | 秋田県秋田市八橋南二丁目10番34号 | ホームページ | https://www.akyodo.co.jp/ | | |
| 事業内容 | 総合印刷・製本、DTPおよびWEBの企画デザイン制作、デジタルデータ制作・電子書籍制作、ドローン空撮、動画制作 | | | | |